COMMORE LIFESTYLE CATALOG #17

Buddy・Garden・Hobby・Scenery・Others

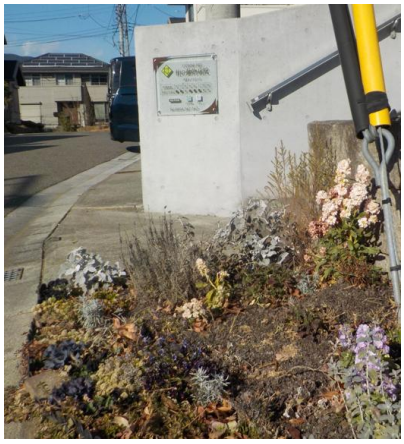
見せる庭つくり：　日差したっぷりの敷地境界に寄せ植えされた春の花たちが鮮やか！

今年の冬は今のところ雪の回数はさほどでもありませんが、最低気温はかなり低いですね。降雨がないため霜柱こそ目立っていませんが、スイレン鉢に張る氷もかなりの厚さになっています。この寒さで庭の植物たちも大変そうで、我が家の菜園のダイコンは葉っぱが一日中寝そべったままですし、ニンジンは凍り付いてうまく抜くことができません。11月のイベントで子供たちが植えてくれた公正屋北側の花壇は、チューリップはまだ冬眠？中で土の中ですし、パンジーたちは地面にペタンとひれ伏して寒さが過ぎるのを待っています。

そんな寒さ厳しいコモアの団地ですが、日当たりの良い場所では早い春が訪れてきています。今回ご紹介するのは住民の皆さんもよくご存じの公正屋北側に位置する杜の動物病院さんの敷地の際のスペースに作られた花壇です。南側に外周道路と歩道が通り、さらに敷地が道路面よりも1mほど高くなっているため、日当たりがとても良い場所です。病院名の書かれた目隠しのコンクリートパネルと境界擁壁の積み石の間の幅40cm位のスペースですが、ビオラやパンジーなどの春の花とローズマリーやラベンダー、シロタエギクなどの多年草も植えられていて、とても見応えのある一帯になっています。

花壇というと一年草や球根の草花を中心に、同じ種類や同じ色を揃えて整然と植え付けた小学校や児童公園の花壇を想像してしまいがちですが、鉢植えの寄せ植えのように様々な種類の苗を混栽して自然の風景を想像させる作庭は最近流行の手法ですね。

そんなガーデニングの手法を取り入れた作りは歩道際の擁壁上のスペースだけでなく、病院入り口前にもできています。優しい印象のエントランスは、受診してみたいと思わせる癒やしのスポットですね。



癒やしのエントランスです

既に満開になっているビオラは、白、黄、オレンジ、青、紫、黒が単色や組合せで鮮やかな花色を見せ、さらにはフリル状の花まであって、こんなにたくさんの種類があるのか…と驚かされます。

いろいろ揃った満開のビオラ

さらに角地に植えられたチューリップの球根は、暖かい日差しを受けて他よりも一足早く芽が出て、蕾も見えています。

早くもチューリップが！

筆者も日々感じていることですが、庭を自力で仕上げるのは結構な時間と労力が必要ですが、今回紹介した歩道際のようにスペースを区切って仕上げていくのは良い方法だと思いました。その際に、ともすれば生け垣に囲まれた庭を自宅内から見るという視点で設計しがちですが、歩道からの視線を優先された発想は秀逸ですね。特にこのお宅の場合には常時お客様の出入りがあること、ブリッジや公正屋さんからの人通りも多いことなど目に付きやすい場所にあり、コモア団地のイメージアップにも、住民の植栽への意識アップにも大きく寄与しているなぁと感じます。奥様のお話では「どんな植物を組み合わせたら良いか？」を検討中とのことですから、さらに素晴らしい寄せ植えガーデンになっていくことでしょう。さらなる進化が楽しみですね！

コモア ライフスタイル カタログは、仲間・庭・趣味・風景・その他のコモアしおつ住民の共通する話題をピックアップすることで、住民間の意見交換を活性化し、魅力的な街を再生することを目指すツールです。年数回不定期に発行し、コモア内に掲示・回覧すると共に、ウェブ「コモアの風」へのアップを行います。ご興味のある方、ご意見のある方はコモア街並み委員会編集担当[clsc.editorial@gmail.com]までお知らせください。